

教育指導課便り

～つながり合い、共に学びをはぐくむために～

函館市教育委員会
学校教育指導課
平成25年3月12日発行
VOL. 14

小学校外国語活動研究協議会報告

平成25年2月4日（月）、教育センターにおいて、小学校外国語活動研究協議会を実施しました。

実践発表では、日新小学校の橋田先生、磯見先生が、教職員が協働体制の下でつくり上げた、担任主導でのオールイングリッシュの授業の成果を中心に、研究内容の発表を行いました。

また、模擬授業では、五稜中学校の小林先生が、中学校1年生の1学期に行っている英語の授業を参加の先生方を生徒役にして行いました。

参加の先生方やサポーターの方々から、3名の先生の発表や授業に、多くの賞賛の声が寄せられました。今年度で終了となる本協議会ですが、これまでの協議会での内容を参考に、外国語活動の時間が一層充実するよう、各小学校での取組を進めていただきたいと思います。



教育経営研究会報告

平成25年2月21日（木）「函館市教育経営研究会」を教育センターにおいて行いました。市立小・中学校、幼稚園及び市立函館高等学校の教頭先生にお集まりいただき、平成24年度全国学力・学習状況調査の結果や平成24年度の全学的な教育活動の取組の傾向、義務教育基本計画の中間評価、そして、これらを基に作成した平成25年度の学校教育推進の指針「アプローチ」についての説明を行いました。また、北海道教育庁渡島教育局沢田紀之教育支援課長から、全道的な見地から学力向上や学校改善についてのお話をいただきました。

研究会でお伝えした平成25年度版「アプローチ」につきましては、今後5カ年で優先的・重点的に取り組むべき事項を「授業改善」、「生徒指導」、「学校安全」、「特別支援教育」の4つとしており、これまで以上に具体的な取組例を示した内容となっております。この後、新年度には全ての先生方にお届けする予定ですので、ご活用願います。

コラム：学力向上②～学習活動モデル・学び方モデルについて～

○ 平成24年度学力向上プロジェクト推進委員会におきましては、次のような流れで当市の学力にかかわる成果や課題の分析を行い、「函館の子どもたちの確かな学びを積み重ねるための学習活動モデル・学び方モデル」を作成しました。

平成23年度CRT検査結果分析

平成23年度全国学力・学習状況調査結果分析

過去5年間のCRT検査、全国学力・学習状況調査結果分析

〈取り組むべき課題〉

- 書く活動
- 話す活動、聞く活動
- ノートの使い方
- 学習の生かし方

函館の子どもたちの
確かな学びを
積み重ねるための
学習活動モデル・
学び方モデル

○ 各学校においては、各種調査に基づき、次年度、学力向上に向けて取り組むべき事項の焦点化を行っているところであると思います。その際、義務教育9年間といった長い見通しの中で取組を進めていく視点をもってください。

○ 先日配布した「学習活動モデル・学び方モデル」を参考に、自校のオリジナルのモデルを作成することもお勧めします。

※ 詳細については、3月下旬発行の「平成24年度函館市学習状況調査実施報告書」をご覧ください。